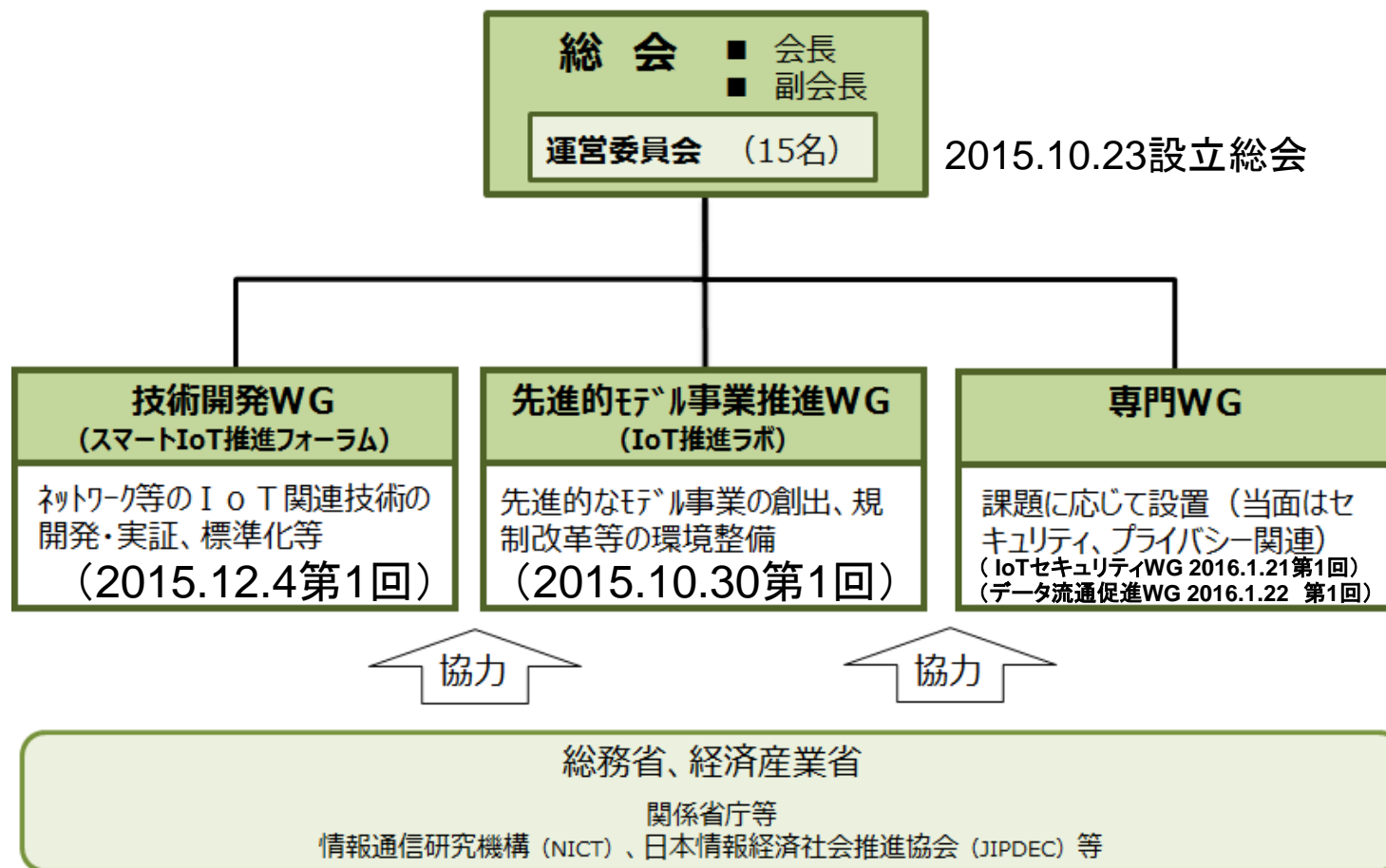


# IoT推進コンソーシアムについて

2017.4.14  
ASPIC

IoT推進に関する技術の開発・実証、及び、新たなビジネスモデルの創出推進するための体制の構築を目的として、2015年10月23日に「IoT推進コンソーシアム（IoT Acceleration Consortium）」が設立された。

ASPICもこのコンソーシアムに積極的に参加し、IoTの動向を把握するとともに、2015年12月より、「ASPIC情報提供」として、会員企業にお知らせしている。



# < IoT推進コンソーシアム 体制 >

総会（会長：慶応大学村井教授）

運営委員会

(2015.10.23設立)  
(2016.10.4 2016年度総会実施)

## 技術開発WG（総務省）

### （スマートIoT推進フォーラム）

（フォーラム座長：慶応大学徳田教授）スマートIoT推進委員会

ネットワーク等のIoT関連技術の開発・実証、標準化等（2015.12.4第1回）

## 先進的モデル事業推進WG

### （IoT推進ラボ）（経産省）

（IoT支援委員会座長：㈱経営共創基盤富山氏）

先進的なモデル事業の創出、規制改革等の環境整備（2015.10.30第1回）

## 専門WG

課題に応じて設置  
（当面はセキュリティ、プライバシー関連）

### 1-1 技術戦略検討部会

（部会長：東京大学森川教授 事務局：NICT）

#### ●技術・標準化分科会

国内外の動向把握と技術・標準化戦略、普及展開戦略の検討等

#### ●通信プロトコルタスクフォース

IoTの通信プロトコルの国内外の動向把握と技術・標準化戦略、普及展開戦略等の検討

#### ●テストベッド分科会

技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討等

#### ●IoT人材育成分科会

IoTの利活用等に必要な専門知識の要件に関する検討、技術開発人材の育成の推進等

### 1-2 研究開発・社会実証プロジェクト部会

（部会長：大阪大学下條教授 事務局：NICT）

#### ●自律型モビリティプロジェクト

自律型モビリティシステムの早期実現に向けた技術開発、実証等

#### ●身近なIoTプロジェクト

生活に身近なIoTの社会実証によるリファレンスモデルの構築等

#### ●異分野データ連携プロジェクト

異分野ソーシャルビッグデータの横断的な流通・統合を行うための課題を検討

#### ●スマートシティプロジェクト

スマートシティの社会実証に向けた技術、課題の検討

### 2-1 Lab Connection（事務局：JIPDEC）

#### （テーマ別企業連携・案件組成イベント）

#### ・Solution Matching

実証事業に関連する事業モデルや技術／サービス等を保有する会員企業、団体、自治体又は企業グループ等によるマッチングを実施（観光・製造（スマート工場））

#### ・Big Data Analysis Contest

企業等から提供されたビッグデータとそれを活用したデータ分析課題をもとに、アルゴリズムの開発競争をオンラインで実施

#### ・Global Connection Matching

海外企業とラボ会員とのマッチングや他のグローバル団体との連携を目指す

### 2-2 Lab Selection（事務局：JIPDEC）

#### （先進的IoTプロジェクト選考会議）

テーマを区切らず、先進的IoTプロジェクトに対して、個別企業の短期的取組を支援

- ・IPA, NEDOによる開発・実証支援（委託費）
- ・金融機関、ベンチャーキャピタルによる出融資
- ・グレーゾーン解消制度、企業実証特例等
- ・メンター（相談者）派遣

### 2-3 Lab Demonstration

#### （テストベッド実証）

テーマ別に複数企業を巻き込んだ中長期的実証

- ・テーマ募集 ・FS調査（実証アーキテクチャーの作成）
- ・テストベッド実証（公募）
- ・規制改革、ルール整備等

### 3-1 IoTセキュリティWG（総務省・経産省）

（座長：電機大佐々木教授 事務局：MRI）

（2016.1.21第1回、4.22第2回）

（議題1）IoT機器等のセキュリティ

（議題2）ネットワークのセキュリティ

・「IoTセキュリティガイドライン」（案）に関する意見募集を経て、7/5に「IoTセキュリティガイドライン ver1.0」として正式に公表。

#### 課題1に対応したSWG

（経産省）（主査：名古屋大高田教授  
事務局：JIPDEC）

#### 課題2に対応したSWG

（ネットワークSWG）（総務省）  
（主査：慶大徳田教授 事務局：日立）  
（2016.1.26第1回）構成員としてASPIC参画

### 3-2 データ流通促進WG（総務省・経産省）

（座長：東大森川教授 事務局：JIPDEC）

（2016.1.22 第1回、5.31第4回）

IoT推進コンソーシアム参加企業等から提案された4ユースケースについて契約条項やデータの権利帰属の考え方、プライバシーの問題等の課題を抽出して検討・整理された。

カメラ画像利活用SWG（2016.7.27第1回）

カメラ画像利活用ガイドブックver1.0公表（2017.1.30）

データ連携SWG（2017.2.16第1回）

新

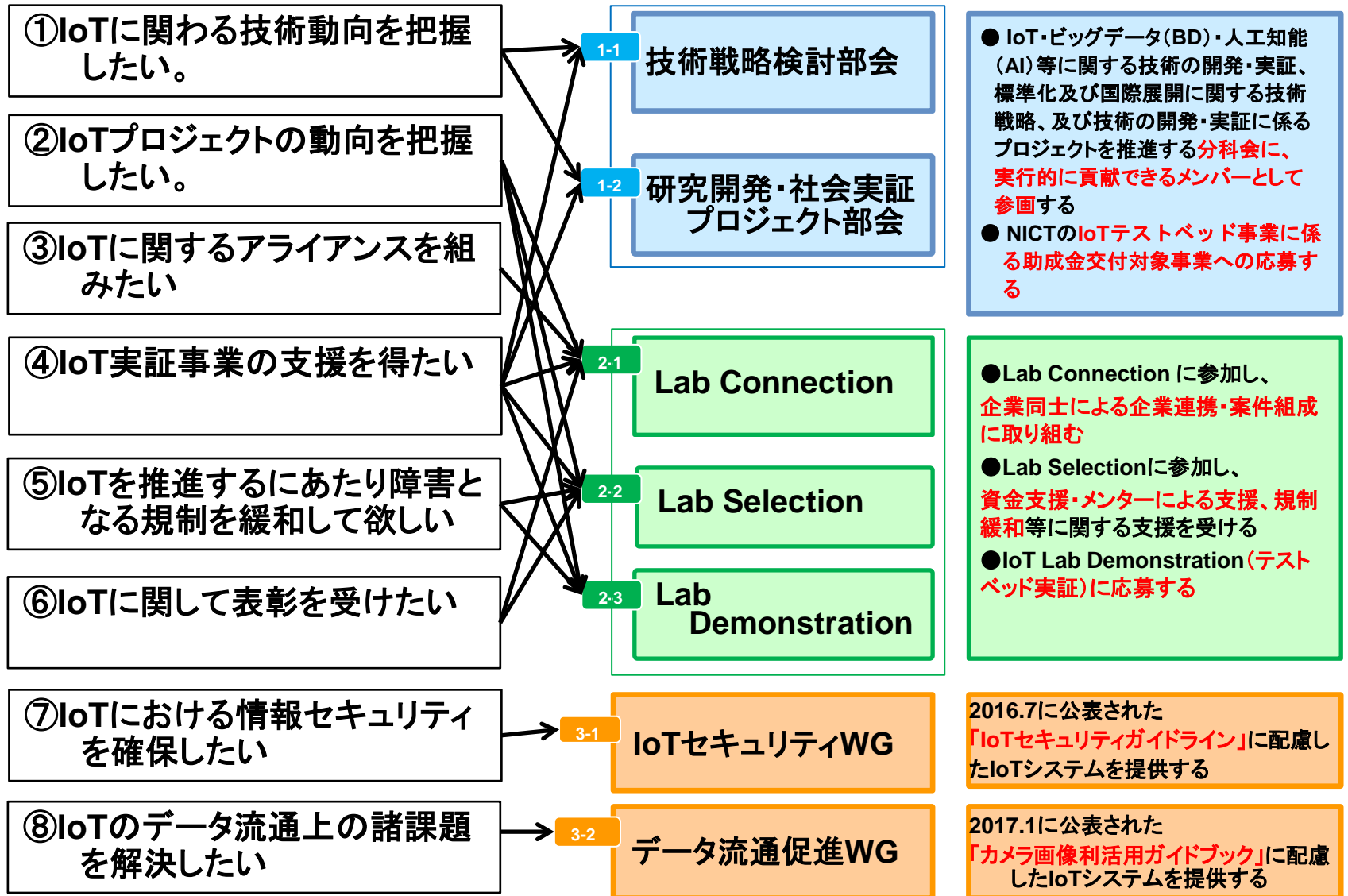
（ASPIC作成）

# <IoT推進コンソーシアムの各活動の活用について>

## 事業者のwill

## IoT推進コンソーシアムの各活動

## 事業者の活用方法



## ①IoT実証事業の支援を得たい

IoT推進ラボのIoT Lab Demonstration（テストベッド実証）や、スマートIoT推進フォーラムから、以下のとおり公募があります。今後もこうした公募の情報についてASPIC会員に提供していきますので事業内容に応じて、適宜公募をご検討ください。

	IoT推進ラボ	件名	公募期間
1	IoT Lab Demonstration (テストベッド実証)	産業保安分野（電気施設保安技術高度化）に関する評価・検証事業 風力発電設備、太陽光発電設備、火力発電設備等を対象とし、 4件程度検証事業を実施する。	4/10～5/9

## ②IoTサービス提供に関して資金支援を得たい

(i) IoT推進ラボのIoT Lab Selectionにおいて、先進的IoTプロジェクトに対して、公募・選考を実施した上、資金支援を行っています。今後も継続される見込みですので、ご活用ください。

### 第1回プロジェクト選考結果(2016.2.7)

〔グランプリ〕 (株) Liquid「指紋による訪日観光客の個人認証による決済」

### 第2回プロジェクト選考結果(2016.7.31)

〔グランプリ〕 ユニファ(株)「保育園内見守り業務のデジタル化支援」

### 第3回プロジェクト選考会議(2017.3.13)実施

〔グランプリ〕 Coaido(株)「大切な人が倒れたとき、命が助かる可能性を上げるアプリ」

(ii) IoT・ビッグデータ・AI等に関するイノベーションを創出する事業テーマで、ビジネスモデルの検証ができるプロジェクトに対して、資金支援及びメンターによる伴走支援を行う「先進的IoTプロジェクト支援事業」の募集をしています。

・資金支援規模上限：2,000万円（消費税込み）・応募締め切り：3月31日（金）

新

### ③IoTに関するアライアンスを組みたい

IoT推進ラボでは、IoT・AI・ビッグデータ等を活用した新たな事業の創出と、その社会実装を促進することを目的とした以下の企業連携支援の取組を実施しています。

#### ①Solution Matching

第1回(2016.1.28)テーマ：観光と製造（スマート工場）

第2回(2016.7.31)テーマ：ヘルスケア（健康・医療）／スポーツ、物流／流通／インフラ

第3回(2016.10.4)テーマ：スマートホーム、モビリティ

第4回(2017.3.13)テーマ：フィンテック、教育、農業・食品

#### ②Global Connection Matching

第1回(2016.10.5) インド、イスラエル、ASEANの海外企業とのマッチング

第2回(2017.3.13) 実施

新

### ④IoTにおけるデータ流通・利用等に係る課題を解決したい

B2Bにおけるデータ流通・利用等に係る課題（データの特性に応じた契約条項やデータの権利帰属の考え方など）を持ち、相談が出ている事業者を招聘し、その前進に向けた助言等を行う場として、「データ流通促進WG」を設置している。

- ・「データ流通促進WG」では、下記のとおりユースケースを募集を実施  
応募期限 2017年3月24日（金）

新

### ⑤IoTに関する各種推進する会議に参加・傍聴したい

IoT推進コンソーシアムの各種会議等についての開催情報を、ASPIC会員にIoT情報としてメール・HPにてお知らせしていますので、適宜参加ください。

新

## ⑥IoTを活用した新たなサービスを創出したい

スマートIoT推進フォーラムのスマートシティプロジェクトでは、3年後に迫った節目の2020年、そしてさらにその先を見据え、IoTを活用した新たなサービス創出に向けて、サービスの実現に資するアイデアの検討・提案を行うアイデアソンを実施。

### ①IoT×2020 アイデアソン

テーマ：来るべき2020年に役立つIoTサービスとは？

日時：2017年3月22日（水）13:30～17:30

締切：3月15日（水）正午

新

## ⑦IoT・BD・AIに関する研究開発を進めたい

総務省は、平成29年度より新規に実施する以下の研究開発課題に係る提案を公募。

### 1. 次世代人工知能技術の研究開発

実施予定額(上限)：4. 1億円

### 2. 「IoT/BD/AI情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業

実施予定額(上限)：5. 55億円

公募期間：3/8(水)から4/12(水) 13時まで

# ＜スマートIoT推進フォーラムの概要と活動状況＞

## フォーラム会合

(2015.12.4第1回)

### スマートIoT推進委員会

(Smart IoT Acceleration Committee)

### 技術戦略検討部会

- 技術・標準化分科会**(第1回会合2016.6.20 第8回会合2017.2.15)  
国内外の動向把握と技術・標準化戦略、普及 展開戦略の検討 等
- 通信プロトコルタスクフォース**(技術・標準化分科会と合同開催)  
IoTシステムを構成する通信プロトコルの国内外の動向把握と技術・標準化戦略、普及展開戦略等の検討
- テストベッド分科会**(第1回2016.9.9 第2回2017.2.27)  
技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討 等。
- IoT人材育成分科会**(第1回2016.9.27 第3回2017.3.15)  
IoTの利活用等に必要な専門知識の要件に関する検討、技術開発人材の育成の推進 等

### 研究開発・社会実証 プロジェクト部会

- 自律型モビリティプロジェクト**(第1回2016.9.27)  
自律型モビリティシステムの早期実現に向けた 技術開発、実証 等
- 身近なIoTプロジェクト**(第1回2016.6.28 第2回2016.12.13)  
IoTサービスの普及に当たって克服すべき具体的課題の特定や、生活に身近なIoTの社会実証によるリファレンスモデルの構築等に向けた検討を行う。  
具体的には、「IoTサービス創出支援事業」と連携し、実施状況の進捗の把握・助言を行うとともに、生活に身近なIoTのリファレンスモデルの構築に関する検討、周知啓発活動等を行う。
- 異分野データ連携プロジェクト**(第1回2016.10.6 第2回2016.12.16)  
異分野ソーシャルビッグデータの横断的な流通・統合を行うための課題を検討
- スマートシティプロジェクト**(IoT×2020 アイデアソン 2017.3.22)  
スマートシティの社会実証に向けた技術、課題の検討

新

【活動状況】 スマートIoT推進フォーラム第2回総会(2017.3.29)実施:

- ①外村仁(FirstCompassGroupジェネラルパートナー)講演 ②パネルディスカッション(金子政務官、土井NICT監事、尾形メロディ・インターナショナル(株)CEO等)
- ③スマートIoT推進フォーラムの活動報告(攻めの戦略、きたる未来に向けて)

# <IoT推進ラボの概要と活動状況>

(IoT推進ラボHPより)

IoT推進ラボは、

- ラボ3原則(案)に基づき個別のIoTプロジェクトを発掘・選定し、  
資金・規制の両面から徹底的に支援するとともに、
- 大規模社会実装に向けた規制改革・制度形成等の環境整備を行う。

IoT支援委員会

...各IoTプロジェクトに対するアドバイス、規制・制度に関する政府提言 等

## 具体的なIoTプロジェクトの創出

### プロジェクト選定の軸

下記要素を有するプロジェクトを優先的に  
選定・支援

#### ラボ3原則(案)

- 成長性・先導性
- 波及性(オープン性)
  - ① 成果物のオープン性  
(標準化・社会実装化)
  - or ② 参加企業のオープン性
- 社会性(社会課題の解決)

### 支援内容

企業連携を促進し資金・規制両面から集中支援

#### 企業連携支援

業種・企業規模・国内外の垣根を越えた  
企業連携、プロジェクト組成を促進する場(マッチング等)の提供

#### 資金支援

プロジェクトの性質に応じた官民合同の資金

#### 規制改革支援

プロジェクトの社会実装に向けて、事業展開の妨げとなる規制の緩和、新たなルール形成等を実施





## 支援内容

### 企業連携支援

業種・企業規模・国内外の垣根を越えた企業連携、プロジェクト組成を促進する場(マッチング等)の提供

### 資金支援

プロジェクトの性質に応じた官民合同の資金支援

### 規制改革支援

プロジェクトの社会実装に向けて、事業展開の妨げとなる規制の緩和、新たなルール形成等を実施

## IoT Lab Connection (テーマ別企業連携・案件組成イベント)

### 【活動状況】

#### ①Solution Matching

- 第1回(2016.1.28)テーマ:観光と製造(スマート工場)
- 第2回(2016.7.31)テーマ:ヘルスケア(健康・医療)ノスポーツ,物流ノ流通ノインフラ
- 第3回(2016.10.4)テーマ:スマートホーム,モビリティ
- 第4回(2017.3.13)テーマ:フィンテック、教育、農業・食品

#### ②Big Data Analysis Contest

- 第1回(2016.2.7)テーマ:観光(観光客数を予測するアルゴリズムの開発)
- 第2回(2016.10.5)テーマ:流通・小売(売上予測のアルゴリズム開発・新商品開発)

#### ③Global Connection Matching

- 第1回(2016.10.5)インド,イスラエル,ASEANの海外企業とのマッチング
- 第2回(2017.3.13)実施予定

## 地方版IoT ラボ

IoTビジネスの創出を推進する地域の取り組みを選定、地域単位でマッチング、商品開発、実証実験等を実施

- 第1弾(2016.7.31)29地域選定
- 第2弾(2017.3.13)選定予定

## IoT Lab Selection (官民合同資金・規制等支援)

### 【活動状況】

- 第1回プロジェクト選考結果(2016.2.7)  
【グランプリ】(株)Liquid「指紋による訪日観光客の個人認証による決済」
- 第2回プロジェクト選考結果(2016.7.31)  
【グランプリ】ユニファ(株)「保育園内見守り業務のデジタル化支援」
- 第3回プロジェクト選考会議(2017.3.13)実施予定

## IoT Lab Demonstration (テストベッド実証)

- テーマ別に複数企業を巻き込んだ中長期的実証
- ・テーマ募集
  - ・FS調査(実証アーキテクチャーの作成)
  - ・テストベッド実証(公募)
  - ・規制改革、ルール整備等

## <専門WGの概要と活動状況>

### IoTセキュリティワーキンググループ

(総務省・経産省) (2016.1.21第1回、4.22第2回)

#### 【活動状況】

2つのSWGにて、それぞれ下記の議題に係るガイドラインの検討を進めており、2016.4.22の本WGにて、最終案を取りまとめた。その後、5/31に「IoTセキュリティガイドライン」(案)に関する意見募集を経て、7/5に正式にver1.0として公表された。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000428393.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000428393.pdf)

(議題1) IoTシステム特有の性質に着目し、IoT機器等の設計・製造・構成・管理に求められるセキュリティガイドライン策定 (機器製造・管理SWG)

(議題2) IoT機器の通信ネットワークへの接続に係るセキュリティガイドライン策定 (ネットワークSWG)

機器製造・管理SWG(経産省)

ネットワークSWG(総務省)

### カメラ画像利活用SWG

(カメラ画像利活用に関するガイドラインver1.0を公表)

第1回2016.7.27  
第2回2016.8.30  
第3回2016.10.7  
第4回2016.10.24

### データ流通促進ワーキンググループ

(総務省・経産省) (2016.1.22第1回、5.31第4回、12.22第11回)

#### 【活動状況】

IoT推進コンソーシアムへの参加企業等からのヒアリングを踏まえ、利活用が期待されるデータをユースケースとして取り扱い、データの特性に応じた契約条項やデータの権利帰属の考え方、プライバシーの問題等の課題を抽出して検討するのが本WGの活動目的である。

このため、IoT推進コンソーシアム参加企業に対し、企業間でのデータの取引において契約や法制度等での色々な課題についてのユースケースの募集をかけた結果、4ユースケースにて課題の整理がされた。

新

### データ連携SWG

第1回2017.2.16  
第2回2017.3.15

## <IoT推進コンソーシアムの国際連携>

- ・IoT推進コンソーシアムでは、IoTのテストベッド実証や、その先にある標準化等を検討するにあたり、**海外国との連携を促進**する。これにより、日本企業によるグローバルなIoTビジネスの創出・普及を目指す。
- ・2016年10月3日  
米国のIoT関連の団体である**Industrial Internet Consortium (IIC)** と **OpenFog**と **MoUを締結**。

### < IICとのMOU締結の狙い>

実証環境の共有や、共通のアーキテクチャ理解に基づいた実証の実施により、効率的かつ効果的なグローバルIoTソリューションの創出が可能となる。

### <OpenFogとのMOU締結の狙い>

特にリアルタイム性や大量のデータ処理等が求められる分野のIoTソリューションを見据え、分散コンピューティングを意識した実証や標準化等につき、連携を促進する。

### <連携のポイント>

- ・グッドプラクティスの発掘・共有
- ・テストベッドや研究プロジェクトの協力
- ・アーキテクチャ等の相互運用性の確保
- ・標準化に関する協力
- ・その他両機関が合意した分野の協力

(2016.10.4 IoT推進コンソーシアム総会資料より)

## <参考：地域IoT実装推進タスクフォース>

総務省では、IoT等の本格的な実用化の時代を迎え、これまでの実証等の成果の横展開を強力、かつ、迅速に推進するため、2016.9月から「地域IoT実装推進タスクフォース」にて検討開始し、2016.12.9「地域IoT実装推進ロードマップ」及び「ロードマップの実現に向けた第一次提言」を公表した。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01ryutsu06\\_02000129.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000129.html)

### <地域IoT実装推進ロードマップ>

「教育」、「農林水産業」、「医療・介護・健康」など8つの「分野別モデル」毎に、2020年度までのKPIの設定と具体的な工程、及び、地域の将来像・経済効果が提示され、地域実装がもたらす効果として、4.9兆円の経済波及効果、45万人の雇用創出効果を生み出すと推計している。

### <ロードマップの実現に向けた第一次提言>

地域IoTの実装には、その実施主体である自治体、関係団体、民間企業等が、様々な形で連携してネットワークを形成し、一丸となって取り組んでいく必要であり、このため、“縦”、“横”、“斜め”の総合的な推進体制の確立に向けて、早急に行動を開始すべきなどの提言がされている。